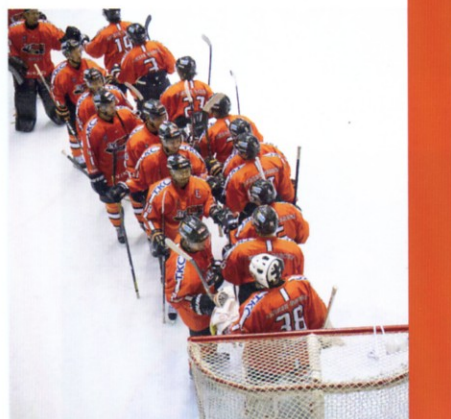




日光にアイスホッケー
チームがある。



日光に美術館もある。



イベント開催のお知らせ

●関連企画1

特別企画 美学講座2012(表篇) スポーツ写真を見る
物理的瞬間の記録と「動き」の感性的認識
2012年12月16日(日) 14時00分から16時00分まで
講師:内野博子(美学者) 参加料:500円(飲み物付)

●関連企画2

「アイスホッケーの防具とユニホームを着てみよう」
会期中、展覧会を御覧いただいた方が、
アイスホッケーの防具とユニホームを着用して
記念撮影ができるイベントです。

参加料:入館料のみ 協力:THE HOCKEY SHOP
*詳しくは、美術館のWeb Siteで御確認ください。
<http://www.khmoan.jp/>

Photo by YAMANAKA Yoshimitsu
*Photo by Inui Photograph Office Inc.,

日光学 美術篇 ㊦

アイスホッケーの美

スポーツ美学の観点から



2012年

11月23日|金・祝|—12月24日|月・振替休日|

小杉放菴記念日光美術館

休館日=毎週月曜日(ただし12月24日は開館) 開館時間=午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
主催=財団法人小杉放菴記念日光美術館/日光市/日光市教育委員会 協力=H.C.栃木日光アイスバックス/古河電気工業株式会社日光事業所
入館料=無料

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3
TEL.0288-50-1200
URL.<http://www.khmoan.jp/>

アイスホッケーの美

スポーツ美学の観点から

日光にアイスホッケーチームがある。

日光に美術館もある。

会期中の催し物については、公式サイトを御覧ください。
http://www.khmoan.jp/

藝術あるいは「美」に関わる営みとスポーツとの関係については、すでに、50年以上もむかし—1950年代初頭に、京都学派の流れをくみ、「中井美学」と称される独自の美学理論を構築した中井正一によって精緻に理論化されています。

また、近年でもドイツの哲学者ヴォルフガング・ヴェルシュが、「スポーツ—美学の視点から、さらには藝術として?」という、スポーツと藝術の類似性について鋭い解析を行なった論考を発表し、大きな注目を集めました。この論考では、かつてのスポーツは精神を鍛える手段として倫理の領域に属していたが、現在では、アスリートたちの鍛え上げられた肉体自体が観賞の対象となるように、プロのレベルでのスポーツが、美的あるいは感性的なものとしての性格を帯びてきていると指摘されています。

このように、現代の文化的な状況において、藝術とスポーツの概念が、これまでにないほど接近してきているという認識のもと、さまざまなスポーツに関わっていた小杉放菴の名前を冠した美術館で、長年にわたって撮影されてきたスポーツ写真—それも、日光の人たちにはとくになじみ深く、まさに市民的なスポーツといえるアイスホッケーを対象とした写真を展示し、かつて、中井美学によって分析された観点からの楽しみ方を提示してみたいと思います。

●観客にとってのスポーツ美



Photo by YAMANAKA Yoshimitsu

●ユニフォームミティ



Photo by Inui Photograph Office Inc.,

●動力学的な筋肉操作の美感



Photo by YAMANAKA Yoshimitsu

●競争性の快感



Photo by Inui Photograph Office Inc.,

●静力学的な筋肉操作の美感



Photo by Inui Photograph Office Inc.,

●スポーツ美の空間性



Photo by Inui Photograph Office Inc.,



●交通案内
東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾、中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分、「神橋停留所」下車、徒歩3分
日光宇都宮道路・日光インターから約2km

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3 Tel. 0288-50-1200